

◆たくましい子 ◆ちからをあわせる子 ◆ぱっちり学ぶ子 ◆納得いくまでがんばる子



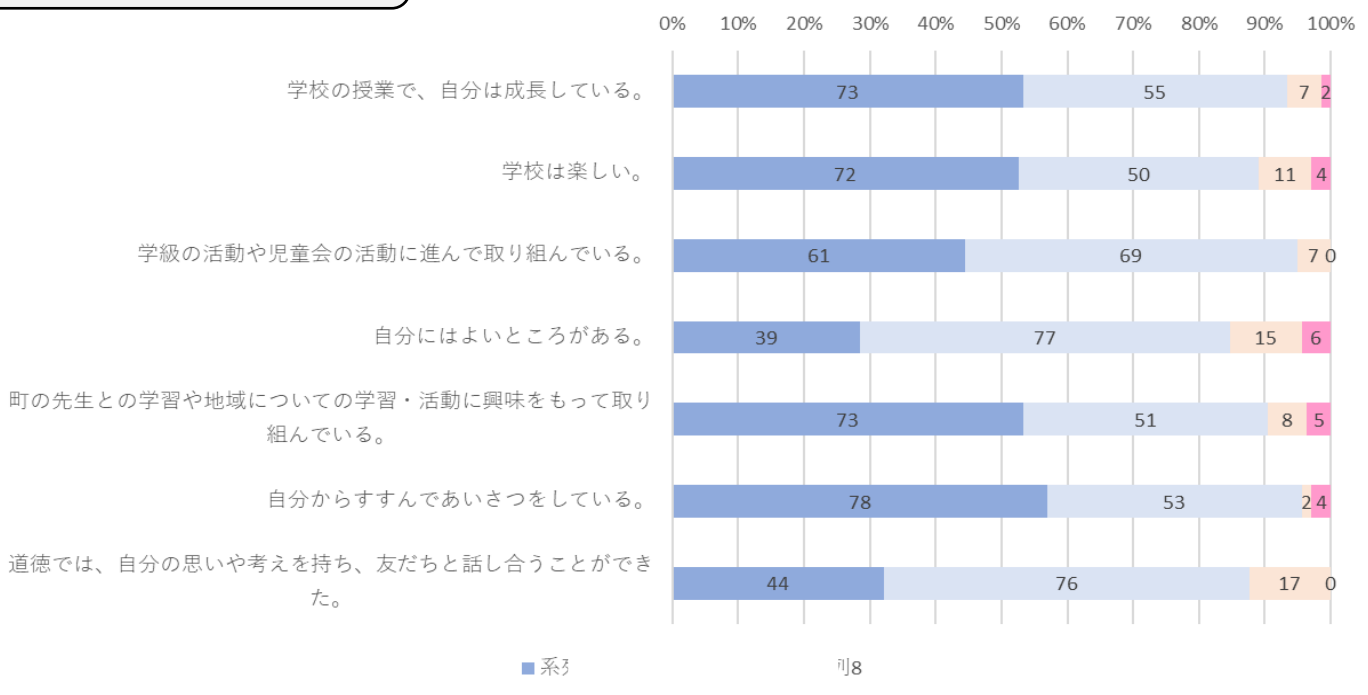
たちばなっ子

橘小学校だより
令和6年3月11日

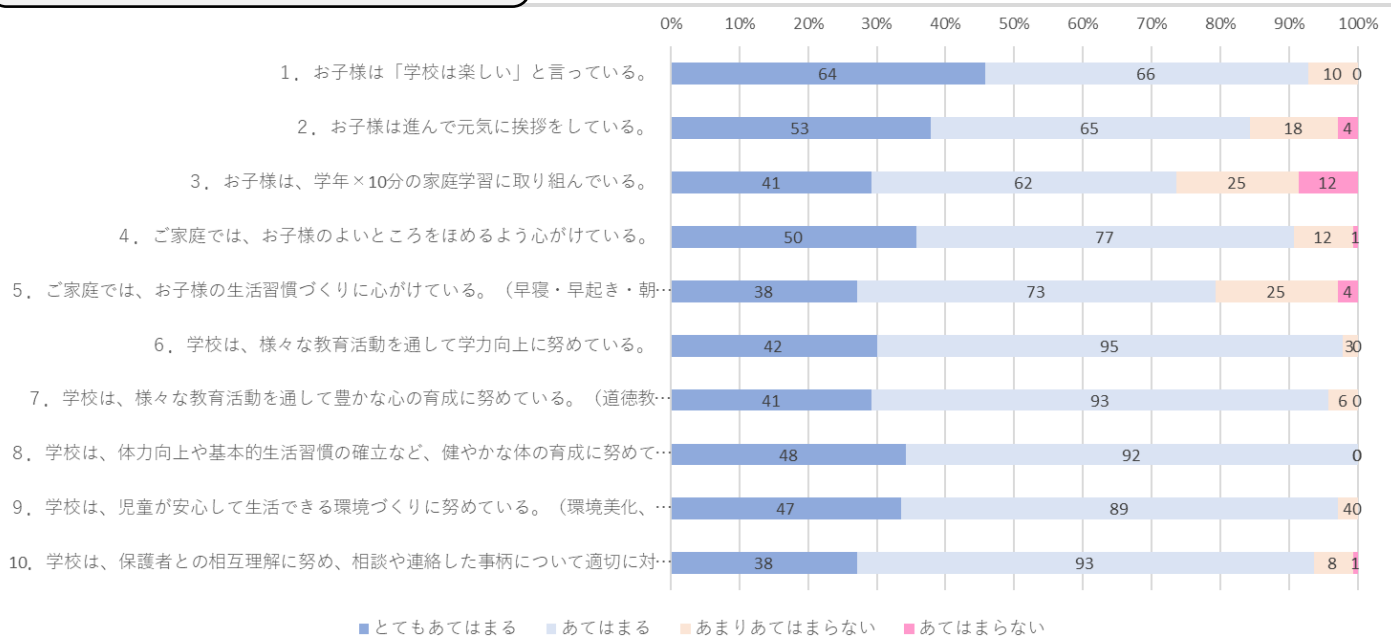
後期の学校評価アンケートの結果をお知らせします

2学期末に実施しました、学校生活に対する児童対象アンケートと、保護者対象アンケートの結果をお知らせします。この結果を生かして教育活動の見直しを行い、保護者の皆様や地域の方々とともに、児童がいいきと活動できる学校づくりをさらに進めていきたいと思っています。

児童アンケートの結果



保護者アンケートの結果



アンケート結果から

【学力向上について】児童アンケート1・保護者アンケート6・3

90%以上の児童が、「授業の中で自分の成長を感じている」と回答しています。また、保護者も95%以上が、学力向上の取組に対し肯定的な回答をしています。今年度は、児童の主体的な学びを目指し授業改善を行ってきました。「授業の中でどんなときに成長を感じるか」という記述での回答には「友だちと交流していてアドバイスができた」「前に解けなかった問題が解けた」など友だちとの協働的な学びや粘り強く取り組むことから自分の成長を感じていることが伺えます。今後も、児童がより成長を感じることができるように、ばっちり算数・漢字の時間を設けるなど基礎学力の定着もはかりつつ、児童が主体となって学ぶ授業改善を進めていきます。

【自己肯定感について】児童アンケート4・保護者アンケート4

川北町全体的に子どもたちの自己肯定感が低い傾向にあります。本校児童も他の設問に比べて低い数値となっています。学校では、児童らが達成感を得られる授業や活動を取り入れるとともに、ひとりひとりの良さを認める声かけや励ましを心がけています。保護者アンケートから家庭でもお子さんのよいところを認め声かけしてくださっていることが伺えます。引き続き、学校と家庭が子どもたちの良さや成長を共有し、温かく見守り育てていきたいと思えます。

【生活習慣の改善について】保護者アンケート5

早寝が「毎日できた」「週に3~4回はできた」と答えた児童の割合がそれぞれ32%、49%でした。げんきっカードの結果と普段の様子から、早寝ができていない児童には、個別の保健指導や保護者と連携した声かけを実施しました。次年度もげんきっカードを継続して実施し、生活習慣をふりかえる機会を設けることで、自らの生活へ意識を向けられるようにします。家庭と学校が連携して子どもたちの健やかな身体の育成に取り組んでいけるようご協力をお願いします。

学校関係者評価委員会からのご意見

2月28日（水）学校関係者評価委員会がありました。学校の取組や学校アンケート結果などから第三者からのご意見や助言をいただき、今後の改善策の見直し等を行います。評価委員の皆様からいただいたご意見は以下の内容です。

- ・集団登校を見ていると子どもの成長を実感する。低学年では集合時間に遅れていた子も、6年生になって集団の先頭や最後尾で低学年に配慮しながら歩いている。
- ・6年生を送る会での各学年の生き生きした姿に感動した。特に運営していた5年生の成長ぶりに驚いた。先生方の指導に感謝している。
- ・コロナの影響で人間関係づくりの能力が落ちていることを強く感じる。ソーシャルスキルトレーニングの学校の取組はぜひ継続してほしい。
- ・少数だが「自分にはよいところがある」「学校は楽しい」の項目の評価が低いのが気になる。先生方にはこの項目を否定的に回答している子たちを見逃さず声かけを続けてほしい。
- ・「優しさ」「真面目さ」「ひたむきさ・・・」このような価値付けを行うことで「自分にはよいところがある」と回答できる児童が増えるのではないかと。

学校アンケート結果および学校評価委員会でのご意見は、今後の学校教育活動の改善につなげていきます。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。